

6. 「コミュニティ・プラットフォーム」に 近い機能を持つ団体事例

組織名	組織概要 (設立過程、規模等)	ミッション (何のために)	運営主体 (誰が)		拠点 (どこで)			事業	協力の対象 (誰と協力して)														
			民間	行政	民間	行政	民間 個人宅		行政 庁舎内会議室	公共施設	協力の対象				マネジメントリソース支援 関連サービス				個人の参加促進 サービス			左記 提供 以外 の分 野の サー ビ ス	
											NPO	個人、 ボラン ティア	企業	行政	育成 人材 (確保、 調達、 信用 保証)	資金 (助成 金、信 用)	施設・ 機材 (提供、 貸与)	ノウ ハウ・ 情報 (提供、 発信)	ノウ ハウ・ 情報 (提供、 発信)	人材 (学 習)	施設・ 機材 (提供、 貸与)		ノウ ハウ・ 情報 (提供、 発信)
			団体 (単一)	団体 (複数)	個人 宅	庁 舎 内 会 議 室	公 共 施 設																
せんだい・みやぎ NPOセンター	地域の市民が情報を持ち込み交 換する「エコロジーショップ」 の経営者が、研究会等の活動を 経て、NPO支援団体を組織。 活動開始：1994年4月 団体設立：1997年11月 法人格取得：1999年7月 職員：専従スタッフ16名 予算規模：約7000万円	地域における民間支援組織として 幅広く地域や分野を越えたNPOの 活動基盤強化をはかり、企業や行 政とのパートナーシップの形成を 促進し、もって市民社会の発展に 寄与すること。	○		○			≪マネジメント支援≫ NPO経営理論や手法を、講座や研修、コンサルティングを通じて提供。 ≪場所と機材の提供≫ 仙台市に働きかけて市民活動サポートセンターを設置。コンペによる受託 によりセンターを管理運営。印刷機、紙折り機、コピー、PC等の機材とロッ カー、共同事務室などを提供。 ≪情報収集・発信≫ プレスリリース、ニュースレター発行、FAX通信、ホームページ、メールマガ ジン、図書の貸出しなどを実施。内容は、全国のNPO情報、助成金情報、 ボランティア募集情報など。 ≪資源の仲介≫ 寄付者の意向に沿った寄付先選定と成果の保証、報告及び支援先 NPOの信用保証を実施。寄付先に、物品・場所、PC、資金、人材など の経営資源を提供。 ≪サロンの運営≫ NPOとNPO、NPOと行政、NPOと企業等の組織・セクター間の交流促進 のためにセクターサロンを毎月開催。	○	○													
浜松NPOネット ワークセンター	「情報公開条例を市民の手に」連 絡会に集まったグループが中心 になりNPO支援活動を開始。現在 も複数グループにより組織を運 営。 活動開始：1997年3月 事務所開設：1997年11月 職員：運営スタッフ7名 団体会員：20団体	市民の夢や思いを「つなぎ、しら べ、しらせ、ささえ、そだてる」市民 による共同事務所、情報センターと して、地域や分野を越えた市民の 活動を支えるとともに、企業や行政 とのパートナーシップづくりに努 め、新しい市民社会の実現を目指 すこと。	○		○			≪マネジメント支援≫ 個人・団体へのマネジメント講座、コンサルテーション、支援及び海外 NPO/NGOの視察や研修を希望する人への相談事業を実施。 ≪啓発事業≫ NPO人材養成講座「NPOステップアップ講座」や市民公開セミナーを実施。 子供の総合学習、大学や市町村での市民活動を学ぶ機会に講師を派遣。 ≪共同事務所運営管理≫ 個人・団体会員はじめ一般向けに印刷機、会議室などの事務設備を提 供。 ≪情報収集・発信≫ ニュースレターを発行。収集情報を情報コーナーで掲示。内容は、団体紹 介、イベント情報、全国のNPO動向、助成金情報など。 ≪ネットワーク推進事業≫ 「団体会員代表者会議」を年1～2回開催、サポート事業の検討と全国的な NPOの動きや行政の事業の詳細についての情報提供。 ≪NPOモデル開発事業≫ シニア、在住外国人、障害者たちがお互いに支え合う仕組みづくりを目的と し、セミナーや交流会、医療サービスなど多文化共生事業を展開。また、コン ピューター教室「やさしいネット」を開講。	○	○													
三重県生活部生活 課NPO室	行政職員によりNPO活動支援のし くみが徐々に整う。活動拠点の移 転を契機に、市民による拠点運営 への移行を検討開始。 活動開始：1998年4月 市民活動センター移転：2001年4 月	NPO活動のための基盤整備、NP Oとの協働推進、NPOの活動支 援、NPOの推進強化等に関する 業務を実施すること。		○			○	≪施設運営管理≫ 市民活動センターを運営管理。 ≪情報収集・発信≫ 市民活動ニュース、週間NPO法人の発行。市民活動団体情報データベー スを構築、運営管理。 ≪電子会議室の運営≫ バーチャル県政企画室、NPOおしゃべりCAFÉ等のコンテンツを提供。															
カルチャーネット ワーク(NPO法人)	青年会議所会長を中心に有志に より文化活動ガイドブックを作 成。これを契機に継続的な活動 が続けられる中、文化センター の管理運営を市から受託し活動 拠点を得る。しだいにNPO支援活 動も行うようになる。 団体設立：1996年10月	「ここに来ればなんでも分かる！」と いう白河地域の情報発信基地を作 り、文化・スポーツ・ボランティア・企 業・団体・個人の情報をネットワ ークすること。	○				○	≪施設運営管理≫ 白河市からの受託により文化センターを運営管理。 ≪文化事業の企画≫ 舞台芸術鑑賞事業や講習会を企画。 ≪情報収集・発信≫ 毎月1回情報誌「ぶらぶら」を発行し、地域のイベント情報を提供。 ≪他団体の活動支援≫ 情報誌「ぶらぶら」と一緒に会員の情報誌やちらしを同封しPR、専用ポス ター掲示板に情報掲示する他、チケット販売の支援などを実施。 ≪事務業務の受託≫ 他団体の活動の問合せ窓口になったり、文書や簡単なチラシを作る支援 業務を実施。															

組織名	組織概要 (設立過程、規模等)	ミッション	(誰が)		(どこで)		(何を、誰に)		(誰と協力して)														
			運営主体		拠点		事業		協働の対象			マネジメントリソース支援 関連サービス				個人の参加促進 サービス				左記 以外 の分 野の サー ビス 提供			
			民間	行政	民間	行政	事業	NPO	個人、ボランティア	企業	行政	育成	人材(確保、調達、保証)	資金(助成金、信用)	施設・機材(提供、貸与)	ノウハウ・情報(提供、発信)	ネットワーク(出会の機会設定)	人材(学習)	施設・機材(提供、貸与)		ノウハウ・情報(提供、発信)	換、出会の機会設定)	ネットワーク(情報交)
			団体(単一)	団体(複数)	個人宅	民間施設																	
シニアのための市民ネットワーク仙台	性別、年齢、職業や経歴、主義・主張、生活体験もさまざまな市民が、「高齢化」をキーワードに多様な趣味の活動や勉強会活動を開始。 活動開始：1995年1月 団体設立：1995年8月 法人格取得：1999年9月	シニア世代を社会の貴重な人材・人的資源としてとらえ、その活力を社会に生かすために、あらゆる世代の人々と共に手を携えて、生きがい、社会福祉、まちづくり等の実践や政策提言活動などに関する事業を実施、新しい豊齢社会の構築に寄与すること。	○			○																	
シニアSOHO普及サロン・三鷹	通産省「シニアベンチャー等育成事業」の認定を受け、任意団体として活動開始。継続的活動を展開するようになり組織設立、三鷹市からの委託事業を中心に活動の幅を広げる。 活動開始：1999年1月 団体設立：1999年9月 法人格取得：2000年11月 会員：222名 賛助会員：6社	シニアを対象に、自己実現や個人の能力の社会還元、起業を促すため、情報技術を利用したコミュニケーションの場や学習教育環境などのプラットフォームを提供し、人間性豊かな生活を営める社会の創造に寄与すること。	○				○	《サロンの運営》 各種のサロンを企画、運営。 「カフェ活性化WG」…「情報コーナー」を企画、運営。 「弥生短歌塾WG」…メーリングリストでお互いの短歌を批評。 「シニア・デジタルビデオ・フェスタ」…デジタルビデオコンテンツの公募。評価の上、インターネットで配信。 《IT関連分野のサービス提供》 IT関連分野のサービス提供事業を実施。 「Linux講座WG」…Linuxサーバインストール講座を開催。シニア講師によるパソコン講座を開講。 「三中支援」「4小サポートプロジェクト」…教員・PTA向けインターネット講習、中学一年パソコン授業支援などの実施。 シニアによるシニアのためのパソコン研修の実施。 《福祉分野のサービス提供》 福祉分野のサービス提供事業を実施。 「環境事業WG」…いくつかのテーマを掘り下げ、可能なものから事業化。例えば、容り法対応ソフト普及、ゴミ下水処理、不要品リサイクルネットな 《国際交流分野のサービス提供》 国際交流分野のサービス提供事業を実施。 「国際交流WG」…国際支援の仕事をシニアができないか、JICAの募集情報を検討し、フィリピンでのボランティア活動や日本語教育を展開。		○	○												○
シニアネットひろしま	有志の活動として出発。継続的活動を展開するようになり組織設立。組織設立後2年し、活動拠点を獲得。 活動開始：1997年8月 設立総会：1999年2月 事務所開設：2001年7月 会員：196名	シニアが自らの手によりパソコン等の情報機器を通じて「生活に役立つ情報」を収集発信することによって、生きいきと活力のある人生を送ること。さらに蓄積されている知識・技能を発揮し、生涯学習・世代間交流の推進等、各分野においてシニアの社会参加を図ること。	○			○	○	《サロンの運営》 「きらきらシニアサロン」を運営。サロンにてパソコン講座を開講。 《情報収集・発信》 WEB上でのイベント情報の提供、電子会議室の運営。 《IT関連分野のサービス提供》 シニア情報生活アドバイザーの養成講座を実施。シニア向けパソコン教室を開講。															○